TAKARA RANGEHOOD FAN

タカラレンジフードファン

ホーロー整流板付シリーズ

取扱説明書

型　式

保証書付

VMAシリーズ

VMA-601AD・751AD・901AD
VMA-601AJ・751AJ・901AJ
VMA-601ARC・751ARC・901ARC
VMA-751RCT・901RCT
VMA-601BD・751BD・901BD
VMA-601BJ・751BJ・901BJ
VMA-601BRC・751BRC・901BRC

VMRシリーズ

VMR-604AD・754AD・904AD
VMR-604AJ・754AJ・904AJ
VMR-604RC・754RC・904RC
VMR-754RCT・904RCT
VMR-604BD・754BD・904BD
VMR-604BJ・754BJ・904BJ
VMR-604BRC・754BRC・904BRC

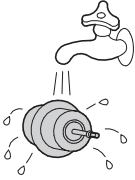
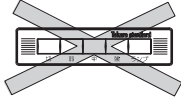
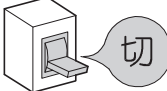
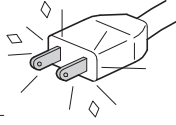
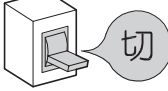
VMRーMシリーズ

VMR-604MAD□・754MAD□・904MAD□
VMR-604MQ□・754MQ□・904MQ□
VMR-604MQ□H・754MQ□H・904MQ□H
VMR-604MQD□・754MQD□・904MQD□
VMR-604MQJ□・754MQJ□・904MQJ□
VMR-604MQRC□・754MQRC□・904MQRC□

※□はL、Rが入る

もくじ

このたびはタカラレンジフードファンをお買い求めいただき、まことにありがとうございました。
ご使用の前にこの取扱説明書をよくお読みの上、正しくお使いください。また、お読みになった後はいつでもご覧になれるところに大切に保管してください。

タカラスタンダード株式会社

1．安全上のご注意（1）　必ずお守りください

■ご使用前に安全上のご注意をよくお読みの上、正しくお使いください。
■ここに示した注意事項は、安全に関する重大な内容を記載していますので、必ずお守りください。
■表示と絵文字の意味は次のようになっています。

表示	意味
⚠警告	誤った取扱いをしたときに、死亡や重傷を負う可能性が想定される内容。
⚠注意	誤った取扱いをしたときに、傷害を負う可能性及び物的損害の発生が想定される内容。

絵表示	意味
	行為の指示（必ずすること）必ず実行してください。
	禁止行為（してはいけないこと）絶対にしないでください。

■お読みになった後は、お使いになる方がいつでも見られる所に大切に保管してください。

⚠ 警　告

分解禁止

●改造はしないでください。修理技術者以外の人は分解したり修理をしないでください。
火災、感電、けがの原因となります。修理はお買い上げの販売店にご相談ください。

禁止

●電源は交流100V以外では使用しないでください。
交流100V以外の電源を使うと、火災・感電のおそれがあります。

水ぬれ禁止

●モータ、スイッチなどの電気部品に水や洗剤をかけたりしないでください。
ショート、感電のおそれがあります。

●異常・故障時には、直ちに使用を中止する。
＜異常・故障例＞
・スイッチを入れても動かない。
・電源コードや配線に深いキズがある。
・配線を動かすと、通電したりしなかったりする。
・焦げくさい臭いがする。
・ビリビリと電気を感じる。
・その他、異常を感じる。

そのまま使用すると、発煙・発火、感電、けがをするおそれがあります。
※すぐに電源プラグを抜いて販売店へ点検、修理を依頼する。

禁止

●ガス漏れのときは、スイッチを入り切りしないでください。
爆発・引火のおそれがあります。

電源プラグを抜く

●お手入れの際は、必ず電源プラグをコンセントから抜くか、分電盤のブレーカを切ってください。またはRCタイプの場合は、スイッチを「ロック」してください。
また、ぬれた手で抜き差し、入り切りしないでください。
感電やけがをするおそれがあります。

●電源プラグの刃及び刃の取付面にほこりが付着している場合は、よくふいてください。
火災の原因となります。

電源プラグを抜く

●ランプを交換するときは、必ず電源プラグをコンセントから抜くか、分電盤のブレーカを切ってから行ってください。
抜くか切らないで作業をすると、感電することがあります。

⚠ 注　意

●羽根や部品の取付は確実に行ってください。
部品の落下により、けがをするおそれがあります。

禁止

●指定以外のランプを使用しないでください。
ランプ部分が高温となり、やけどをするおそれがあります。

1．安全上のご注意（2）　必ずお守りください

⚠ 注　意

接触禁止

●運転中は危険ですから、羽根の中に指や物を入れないでください。
けがをするおそれがあります。

禁止

●本体に異常な振動が発生した場合、使用しないでください。
本体、部品の落下により、けがをするおそれがあります。

禁止

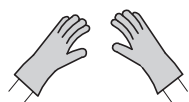
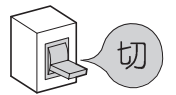
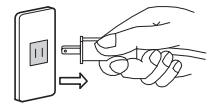
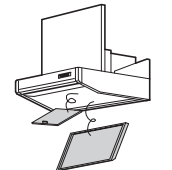
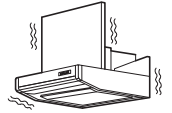
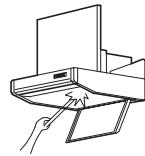
●フードの天面部には、ものを載せないでください。
フード部の落下及びものの落下により、けがをするおそれがあります。

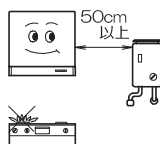
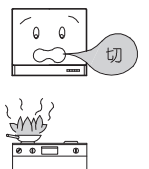
●整流板の取付け、取りはずしは確実に行ってください。
落下により、けがをするおそれがあります。

●電源プラグを抜くときは、電源コードを持たずに必ず電源プラグを持って引き抜いてください。
感電やショートして発火することがあります。

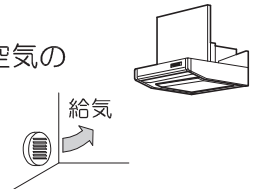
電源プラグを抜く

●長期間ご使用にならないときは、必ず電源プラグをコンセントから抜くか、分電盤のブレーカを切ってください。
絶縁劣化による感電・漏電火災の原因となります。

●清掃時には、ゴム手袋などをお使いください。
板金の端などで、けがをするおそれがあります。

お　願　い

●高温になる使いかたはしないでください。
・加熱器具の空だきはしない。
・湯沸器の取付は５０cm以上離す。
モータ焼損、排ガスによる塗装面のサビ発生の原因となります。

●誤ってフライパンなどの油に火がついたときは、火を消すと同時にレンジフードファンの運転を停止してください。
運転していますと火の勢いが強くなります。

●台所の全体換気の必要なところは、他の換気扇との併用をおすすめします。

●レンジフードファンにもたれかかったり、ぶら下がったりしないでください。
レンジフードファンの破損や変形の原因となります。

●空気の取入れ口が必要です。
効率の良い換気を行うために空気の取入れ口を設けてください。
空気の取入れが不十分ですと換気性能が低下します。

●調理機器を使用するときは、必ずレンジフードファンを運転してください。
運転しないとフード内の温度が上がり、製品の損傷や高熱による故障の原因となります。

●吸込み部分に市販の繊維フィルターなどを取付けないでください。
レンジフードファンの風量低下につながるほか、火災予防条例上、使用が制限される場合があります。

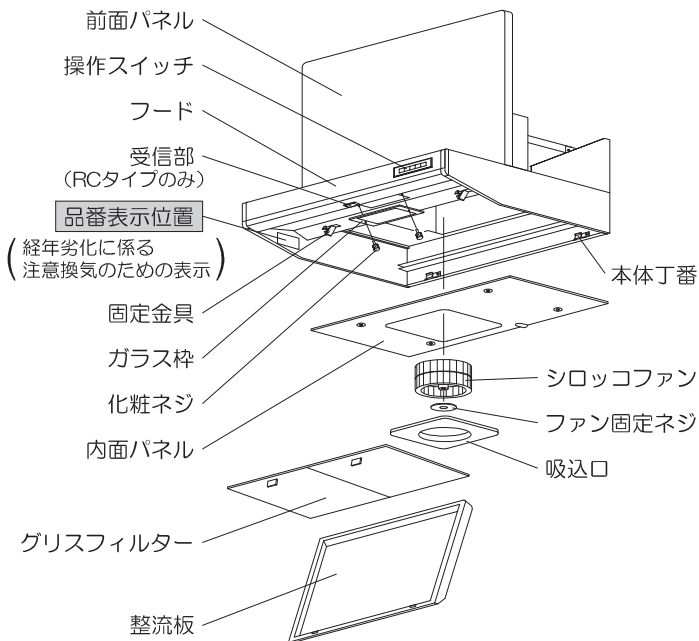
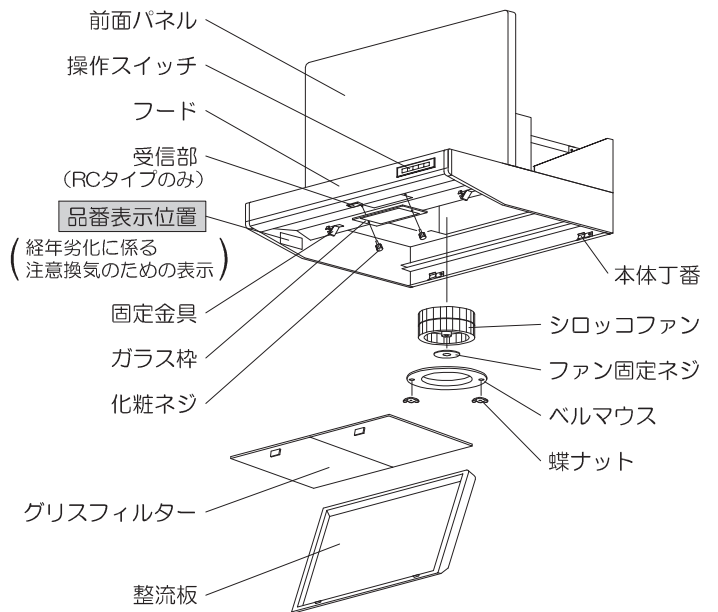
●ＩＨヒータなど表面がガラスの加熱器具をご使用の場合、お手入れの際はガラス面を保護してください。
物が落ちて、ガラスが割れるおそれがあります。

●キッチン周辺の気温が低いときに使用された場合には、レンジフードファンの表面が結露することがあります。
結露した場合は、ふき取って使用してください。

●レンジフードファンご使用時、気流（エアコンなどの風）が直接あたらないようにしてください。
気流（エアコンなどの風）の影響を受けると吸込み低下につながる場合があります。

2. 各部の名称と仕様

整流板は捕集性能を向上させるためのものです。
取付けてご使用ください。

■VMAシリーズ

■VMRシリーズ、VMR-Mシリーズ

付属のリモコン

・VMA-ARC,VMA-BRC,VMR-RC,VMR-BRC,VMR-MQRC型にはリモコンが付属されています。

・リモコンにはリモコンホルダーが同梱されていますが、ご使用の際はリモコンを手に持ち、フードの受信部に向けて操作してください。

■質量（kg）

型式 ＼ 間口	60cm	75cm	90cm
VMAシリーズ	21	24	27
VMRシリーズ	20	22	25
VMR-Mシリーズ	18	21	24

■VMA-AD/VMA-ARC/VMA-BD/VMA-BRC/VMA-RCT

定格	風量	消費電力 (W)	風量 (m³/h)	騒音 (dB)
100V 50/60Hz	強	99/114	605/590	47/46
	中	50/51	355/330	38/36
	弱	23/22	205/190	27/26

■VMA-AJ/VMA-BJ

定格	風量	消費電力 (W)	風量 (m³/h)	騒音 (dB)
100V 50/60Hz	強	99/114	605/590	47/46
	弱	50/51	355/330	38/36
	常時換気	8/11	105/135	23/23

■VMR-AD/VMR-RC/VMR-BD/VMR-BRC/VMR-RCT

定格	風量	消費電力 (W)	風量 (m³/h)	騒音 (dB)
100V 50/60Hz	強	96/116	595/575	47/46.5
	中	50/51	365/330	39/37
	弱	23/22	200/185	27/26

■VMR-AJ/VMR-BJ

定格	風量	消費電力 (W)	風量 (m³/h)	騒音 (dB)
100V 50/60Hz	強	96/116	595/575	47/46.5
	弱	50/51	365/330	39/37
	常時換気	8/10	115/130	25/25

■VMR-MAD/VMR-MQ/VMR-MQD/VMR-MQRC

定格	風量	消費電力 (W)	風量 (m³/h)	騒音 (dB)
100V 50/60Hz	強	94/105	540/535	46/46
	中	52/52	315/295	36/35
	弱	34/33	200/185	27/26

■VMR-MQJ

定格	風量	消費電力 (W)	風量 (m³/h)	騒音 (dB)
100V 50/60Hz	強	94/105	540/535	46/46
	弱	52/52	315/295	36/35
	常時換気	8/11	105/130	23/23

■VMR-MQH

定格	風量	消費電力 (W)	風量 (m³/h)	騒音 (dB)
100V 50/60Hz	強	102/122	605/580	47/47
	中	64/64	370/335	38/37
	弱	31/30	220/205	28/27

※消費電力、風量、騒音の測定はJIS C9603によります。
値は静圧0Paのときを示します。
設置環境により、実使用の数値とは異なります。
レンジフードファンに使用している部品は、性能向上などのため予告なしに一部変更することがあります。

3．リモコンの準備

■リモコンホルダーの取付方法

取付方法１　マグネットによる取付

リモコンホルダーの裏面

１．リモコンホルダーの裏面をよくふき、
　　付属のマグネットの両面テープをはがし、
　　所定の位置に貼付けてください。

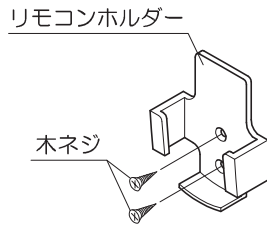
２．ホルダーの準備ができましたら、
　　キッチンパネルなどの金属部分に
　　取付けてください。

取付方法２　ネジによる取付

●リモコンホルダーの取付位置を
　決めて、壁などに付属の木ネジ
　２本で固定してください。

■電池の入れかた

１．電池カバーをはずす
　　・矢印の方向にスライドさせて
　　　電池カバーをはずしてください。

２．乾電池を入れる
　　・乾電池の極性に注意して、
　　　乾電池を入れ、電池カバーを
　　　元通りに取付けてください。

お願い

◎リモコンを落としたり、衝撃を加えないでください。
◎水の中に落としたり、濡れた手で操作しないでください。
◎直射日光の当たる場所、加熱器具など高温になる場所の
　近くには置かないでください。
◎リモコンスイッチの信号が届きにくくなったときは、
　新しい乾電池に２本とも交換してください。
◎乾電池の液漏れによる故障を避けるため、長時間使用し
　ない場合は乾電池を取り出してください。

4．使用方法（1）

■操作スイッチ

ご　注　意

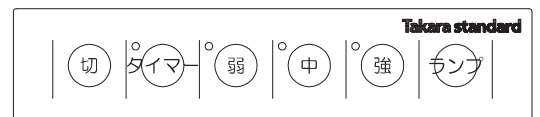
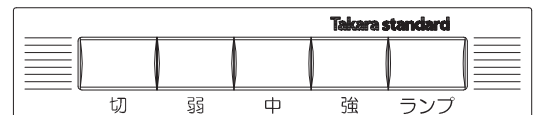
◎操作スイッチは一つずつ操作し、複数のスイッチを同時に押さないでください。
◎操作スイッチは軽く押すだけで作動します。強く押し過ぎないよう注意してください。

スイッチボタンを押してレンジフードファンの運転を選択してください。

RCタイプのスイッチ

Takara standard
切　タイマー　弱　中　強　ランプ

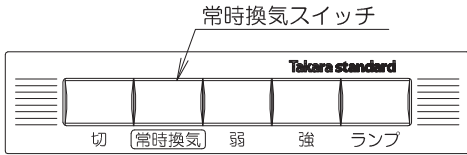
RCタイプ以外のスイッチ

スイッチ	説明
切スイッチ	レンジフードファンの運転を停止するときに押します。
弱スイッチ	油煙の少ないときや調理後の換気をするときに押します。
中スイッチ	通常の運転のときに押します。
強スイッチ	油煙の多いときや早く換気するときに押します。
ランプスイッチ	照明を点けるときに押します。 押すたびに「点灯/消灯」を繰り返します。
タイマースイッチ	レンジフードファンの運転（弱・中・強）を数分後に自動停止させるときに押します。 調理後の熱気やニオイを排出するときなどにお使いください。 レンジフードファン運転中に設定してください。

設定方法

・１回押し「受付音（ピッ）」　⇒タイマーの表示ランプが点滅し約３分後に運転停止
・２回押し「受付音（ピピッ）」⇒タイマーの表示ランプが点灯し約６分後に運転停止
・３回押し「受付音（ピッ）」　⇒設定解除
※照明はタイマーと連動しません。

4．使用方法（2）

常時換気スイッチ　VMA-AJ・VMA-BJ・VMR-AJ・VMR-BJ・VMR-MQJ型のみ対応

住宅の全体換気をするときや、調理時以外もニオイや湿気を換気するときにお使いください。
２４時間少しづつ静かに換気することができます。住宅の全体換気としてレンジフードファンを使用する場合、調理時やお手入れ時以外は常に常時換気運転をしてください。

操作方法　常時換気運転するときに常時換気スイッチを押します。

※調理の際、運転スイッチ（弱・強）を押すと、常時換気運転は解除されます。調理後、常時換気スイッチを押してください。常時換気運転を停止する場合は切スイッチを押してください。

レンジフードファン連動専用加熱機器と組み合わせてご使用になる場合　（RCタイプのみ対応）

・加熱機器を加熱開始（着火）すると、レンジフードファンは自動的に運転を行います。風量は連動開始時の運転状態により自動で設定されます。（右表参照）
（注）加熱機器の機種によっては、異なる動作をする場合があります。
加熱機器の取扱説明書もあわせてご覧ください。

・加熱機器を加熱停止（消火）すると、レンジフードファンはそのままの風量で自動的に約３分または約6分で運転を停止します。
（タイマー運転については、「タイマースイッチ」の項参照）

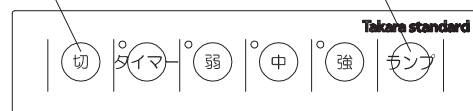
・レンジフードファンの風量切替および照明の「点灯/消灯」などの操作を加熱機器の操作スイッチで、できる機種もあります。
詳しくは、加熱機器の取扱説明書をご覧ください。

レンジフードファンが次の運転状態のとき	加熱開始(点火)すると
停止	中運転
弱運転	
中運転	
強運転	強運転

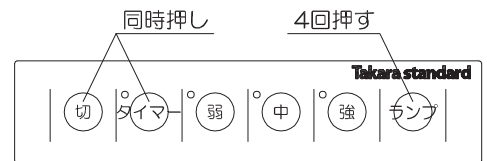
レンジフードファンが次の運転状態のとき	加熱停止(消火)すると
連続運転中	３分タイマースタート
３分タイマー運転中	３分タイマー再スタート
６分タイマー運転中	６分タイマー再スタート

加熱機器との連動を解除したいとき

（工場出荷時は、［連動する］に設定しています。）
切スイッチを押しながら、ランプスイッチを4回押すと確認ブザーが鳴り、［連動する］と［連動しない］が切り替わります。

・［連動する］→［連動しない］：「受付音（ピッピーピッ）」
・［連動しない］→［連動する］：「受付音（ピッピーピピッ）」

スイッチの「ロック」と「ロック解除」の方法　（RCタイプのみ対応）

※お手入れの際は必ずスイッチロック設定を行ってください。

＜スイッチロック設定方法＞
運転停止・照明消灯の状態で、切とタイマースイッチを同時に押しながら、ランプスイッチを4回押します。
受付音（ピッピーピッ）がして、スイッチがロックされます。
スイッチロック設定中はタイマーのランプが点滅します。操作スイッチを押しても運転しません。

＜スイッチロック解除方法＞
スイッチロック解除は、スイッチロック設定と同じ操作を行ってください。
受付音（ピッピーピピッ）がして、スイッチロックが解除されます。

5．お手入れのしかた（1）

■いつまでも快適にご使用いただくためには、日頃のお手入れが大切です。

電源プラグを抜く

●お手入れの際は、必ず電源プラグをコンセントから抜くか、分電盤のブレーカを切ってください。またはRCタイプの場合は、スイッチを「ロック」してください。
また、ぬれた手で抜き差し、入り切りしないでください。
感電やけがをするおそれがあります。

5. お手入れのしかた（2）

●モータ、スイッチなどの電気部品に水や洗剤をかけたりしないでください。

ショート、感電のおそれがあります。

●清掃時には、ゴム手袋などをお使いください。

板金の端などで、けがをするおそれがあります。

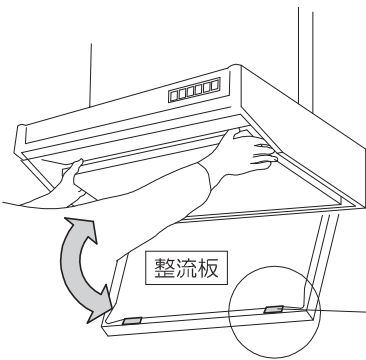
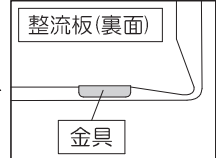
ご　注　意

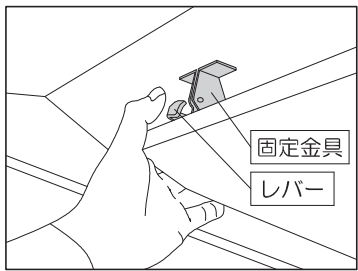
◎塗装の変質、変色、はがれなどの防止のため、みがき粉、ベンジン、シンナー、酸性洗剤、アルカリ性洗剤、金属タワシなどは使用しないでください。
お手入れには中性洗剤をお使いください。

◎部品取りはずしの際は、落下させないように注意してください。

お　願　い

◎レンジフード用コンセントは前面パネル内側の後壁に設置されています。電源プラグを抜くときは、前面パネルをはずす必要があります。前面パネルのはずしかたはP8・9をご覧ください。
※RCタイプはスイッチを「ロック」することができます。P5をご覧になりスイッチ「ロック」してください。

◎グリスフィルターに油やほこりなどが付着しますと、風量低下や異常音発生の原因となります。
約1ヶ月に1度を目安として掃除してください。

■整流板の開けかた、はずしかた、閉めかた

ご　注　意

◎調理後は整流板が熱くなっている場合がありますので、注意してください。
◎整流板は重量があります。整流板の取付け・取りはずしの際、落下させないように注意してください。
◎整流板を開けるときは、途中で手を放さないでください。壁面にあたり壁面や整流板を傷めることがあります。
◎整流板に取付いている金具などを掃除する際は、ゴム手袋などを必ず着用してください。

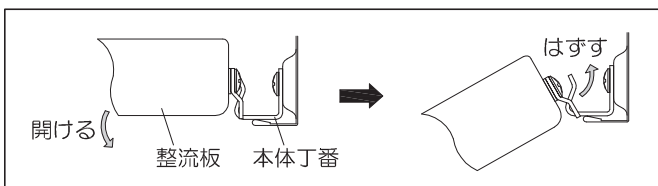
整流板の開けかた

1. 図のように両手で整流板をしっかり支えます。
2. 指で固定金具のレバーを下げます。
   ●整流板の金具が固定金具からはずれます。
3. 整流板を両手で支えたまま、後側へゆっくり下げます。

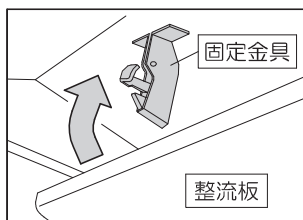
整流板

※整流板の金具は、はずさないでください。整流板の金具を掃除する際は、金具の端面に注意してください。

整流板のはずしかた

●下図のように整流板を本体丁番からはずしてください。

※本体丁番のネジは、はずさないでください。

整流板の閉めかた

●固定金具に向かって整流板をゆっくり押し上げます。

※整流板を閉めた後、確実に固定金具に掛かっているか、整流板の中央を片手で持ち、軽く下へ引張り、はずれないことを確認してください。

■整流板の汚れは

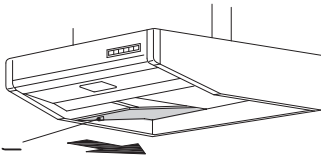
●中性洗剤を浸した布で汚れをふき取り、洗剤が残らないように十分にふき取ってください。

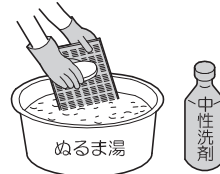
5．お手入れのしかた（3）

■グリスフィルターをはずすには

ご 注 意

◎取りはずす際は、グリスフィルターに手をそえて、落とさないように注意してください。

●グリスフィルターはつまみを持って、奥へ押すようにして、手前側の溝からはずしてください。

■グリスフィルターの汚れは

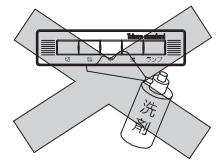
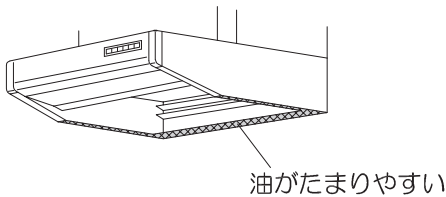
●中性洗剤を溶かしたぬるま湯の中に浸しておいてから、樹脂製タワシで汚れを落としてください。
（中性洗剤以外では変色する場合があります。）
●水分をよくふき取ってから、取付けてください。

ご 注 意

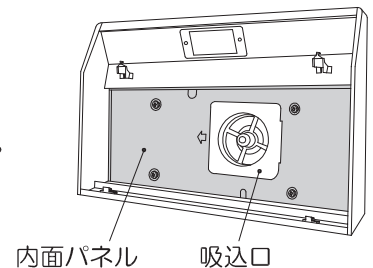
◎グリスフィルターは変形しやすいものですから、取扱いには十分に注意してください。

■本体、フードの汚れは

ご 注 意

◎モータ、スイッチなどの電気部品に水や洗剤をかけたりしないでください。

●中性洗剤を浸した布で汚れをふき取り、洗剤が残らないように乾いた布でよくふき取ってください。
●下図の箇所は油がたまりやすいですので、月に１回程度、油をふき取ってください。
清掃を怠りますと、たまった油が滴下してくることがあります。

■内面パネルの汚れは VMAシリーズのみ

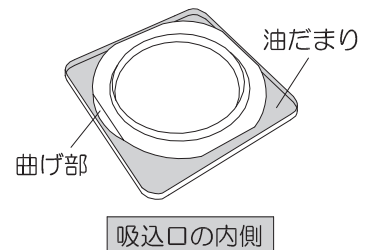
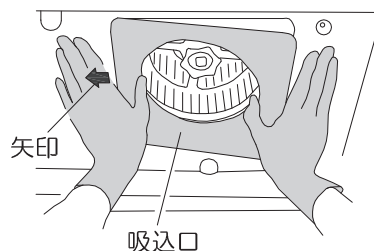
●中性洗剤を浸した布で汚れをふき取り、洗剤が残らないように十分にふき取ってください。
●吸込口の汚れは、吸込口をはずしてから、ふき取ってください。

■吸込口をはずすには VMAシリーズのみ

ご 注 意

◎吸込口をはずす際、落下させないように注意してください。　落下により、けがをするおそれがあります。

1．図のように吸込口を両手で支えてください。
2．矢印の方向へ指で押して、矢印の反対側から下方へはずしてください。（吸込口の裏側に油がたまります。こぼれないように注意してください。）

●吸込口の取付は、逆の要領で行ってください。
内側の曲げ部を矢印方向にして、取付けてください。

吸込口の内側

■吸込口の汚れは VMAシリーズのみ

●中性洗剤を溶かしたぬるま湯の中で、樹脂製タワシなどで汚れや油を洗い流してください。
●水分をよくふき取ってから、取付けてください。

※吸込口は食器洗い乾燥機もご使用できます。お使いの食器洗い乾燥機の取扱説明書をよくお読みの上、ご使用ください。
汚れがひどい場合は、予備洗いをしてから、食器洗い乾燥機で汚れを落としてください。

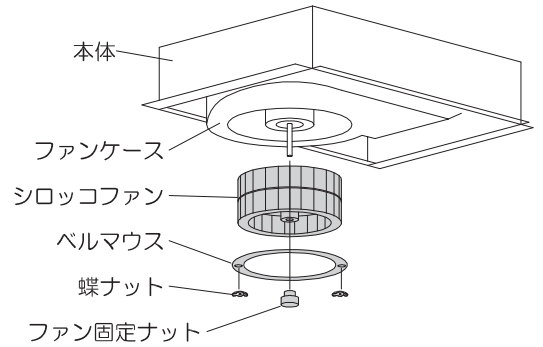
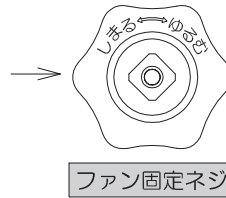
5．お手入れのしかた（4）

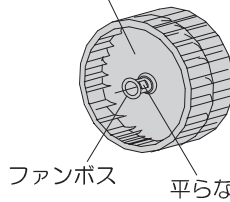
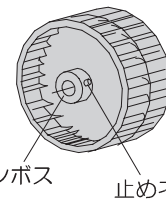
■シロッコファンをはずすには

ご 注 意

◎シロッコファンをはずす際、落下させないように注意してください。
落下により、けがをするおそれがあります。

1．ベルマウスの蝶ナットをはずしてください。
（VMAシリーズは吸込口をはずしてください。）
2．ファン固定ネジを「ゆるむ」の方向へ回してください。
3．シロッコファンを下方に引き抜いてください。

ファン固定ネジ

シロッコファンを取付ける場合の注意点

●シロッコファンは、モータ軸のDカット部にファンボスの平らな部分（または止めネジの部分）を合わせて、差し込んでください。

■シロッコファンの汚れは

ご 注 意

◎ゴム手袋などを必ず着用してください。　板金の端などに注意してください。

●中性洗剤を溶かしたぬるま湯の中で、樹脂製タワシなどで汚れを洗い流してください。
●水分をよくふき取ってから、取付けてください。

※ファンの羽根に金具（回転のバランス用）が付いている場合があります。
絶対にはずさないでください。はずすと異常や故障の原因となります。

■前面パネルの汚れは

●中性洗剤を浸した布で汚れをふき取り、洗剤が残らないように十分にふき取ってください。

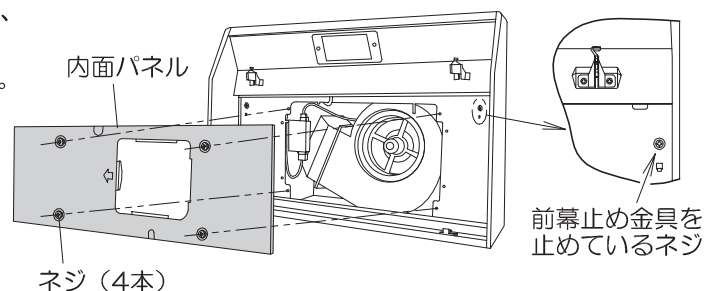
■前面パネルをはずすには

ご 注 意

◎前面パネルはかなりの重量がありますので、取扱いには十分注意してください。
◎レンジフードファンの電源プラグを抜くとき以外は、はずす必要はありません。お手入れの際に電源を切る場合は、分電盤のレンジフードファン用ブレーカを切ることをお勧めします。（前面パネルは大きく、重いため。）

●VMAシリーズの場合は、吸込口と内面パネルを取りはずしてから、前面パネルをはずしてください。
1．吸込口をはずしてください。はずしかたはP7をご覧ください。
2．内面パネルをはずしてください。
（固定しているネジ4本をはずしてください。）

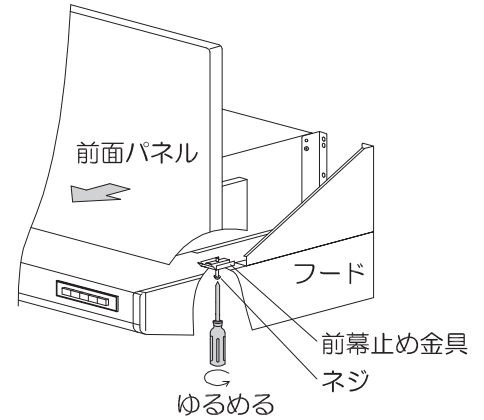
ご 注 意

◎吸込口、内面パネルをはずす際、落下させないように注意してください。落下により、けがをするおそれがあります。

5．お手入れのしかた（5）

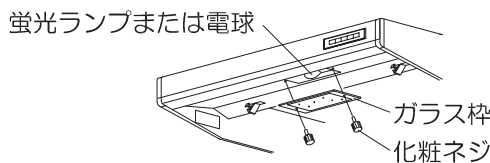
■前面パネルをはずすには（つづき）

●前面パネルのはずしかた

1．フード内側より、前幕止め金具を止めているネジを、少しゆるめてください。
2．前面パネルを手前に引いて、はずしてください。

●前面パネルと内面パネルの取付は、設置説明書をご覧になって確実に行ってください。

■ランプの取替えは

●ランプを交換するときは、必ず電源プラグをコンセントから抜くか、分電盤のブレーカを切ってから行ってください。
抜くか切らないで作業をすると、感電することがあります。

1．２本の化粧ネジをはずして、ガラス枠をはずしてください。
2．蛍光ランプまたは電球をはずしてください。

指定交換部品	
VMA・VMR・VMR-MAシリーズ	VMR-MQシリーズ
電球形蛍光ランプ EFD15EL形 （口金：E17）	ミニ電球 40Wミニ電球 （口金：E17）

■お手入れ後の組立と点検

●お手入れが終わりましたら、取りはずしと逆の順序で組立してください。
●各部品は十分に乾燥させてから、本体に取付けてください。
●RCタイプの場合は、スイッチの「ロック」を解除してください。解除方法はP5をご覧ください。
●操作スイッチの各スイッチを押して、運転動作を確認してください。

6．故障かな？と思ったら

修理サービスをお申しつけになる前に、次の点をお調べください。

症　　状	原　　因
操作スイッチを押しても運転しない。	停電ではありませんか。　ご家庭のブレーカやヒューズが切れていませんか。 RCタイプの場合は、操作スイッチがロック状態になっていませんか。
運転中に異常音や振動がする。	本体に前面パネル、フード、グリスフィルター、ファン、ガラス枠などが確実に取付けられていますか。
ランプスイッチを押しても点灯しない。	<VMA･VMR･VMR-MAシリーズ> 蛍光ランプが切れていませんか。 <VMR-MQシリーズ> 電球が切れていませんか。 交換部品は上記をご覧ください RCタイプの場合は、操作スイッチがロック状態になっていませんか。
換気風量が少ない。	グリスフィルターが汚れていませんか。 空気の取入れ口は十分に確保できていますか。
リモコンを操作してもレンジフードファンが動かない。 （VMA-ARC･VMA-BRC･VMR-RC･VMR-BRC VMR-MQRC型のみ）	リモコンの送信部、本体の受信部が汚れていませんか。 乾電池が古くなっていませんか。 操作スイッチがロック状態になっていませんか。

以上のことをお調べになり、それでも具合の悪いときは、操作スイッチを切り、電源プラグを抜くか分電盤のブレーカを切り、販売店にご連絡ください。

7．アフターサービス

◆長期使用製品安全表示制度に基づく本体表示について

［本体への表示内容］

※経年劣化により危害の発生が高まるおそれがあることを注意喚起するために電気用品安全法で義務付けられた以下の内容の表示を本体に行っています。

【製造年】　本体に西暦４桁で表示してあります。
【設計上の標準使用期間】　１０年
設計上の標準使用期間を超えてお使いいただいた場合は、経年劣化による発火・けが等の事故に至るおそれがあります。

［設計上の標準使用期間とは］

※運転時間や温湿度など、標準的な使用条件に基づく経年劣化に対して、製造した年から安全上支障なく使用することができる標準的な期間です。

※設計上の標準使用期間は、無償保証期間とは異なります。また、偶発的な故障を保証するものではありません。

●「経年劣化」とは
長期間にわたる使用や放置に伴い生ずる劣化をいいます。

■標準使用条件　日本工業規格 JIS C9921-2 による

環境条件	電　圧	100V	機器の定格電圧による
	周波数	50Hz又は60Hz	
	温　度	20℃	JIS C9603参照
	湿　度	65%	
	設置条件	標準設置	機器の設置説明書による
負荷条件		定格負荷（換気量）	機器の取扱説明書による
想定時間	1年間の使用時間	換気時間 8760時間/年（常時換気） 2410時間/年（局所換気）	

愛情点検　長年ご使用のレンジフードファンの点検を！

このような症状はありませんか
・スイッチを入れても回転音が不規則に聞こえたり、回転しない。
・運転中に異常音がしたり振動がある。
・異臭がする。
・その他、異常を感じる。

このような症状のときは、事故防止のためにすぐに電源を切ってから、お買い上げの販売店または工事店に点検・修理をご依頼ください。

タカラレンジフードファンのアフターサービスは、お買い求めの販売店へお申しつけください。
また、おわかりにならないときは、下記フリーダイヤルへご連絡ください。

Ⓡ 0120-557-910
受付時間　9:00～18:00（土日祝、夏期・年末年始休業日を除く）

アフターサービスをお申しつけの際は、次のことをお知らせください。

①製品名（レンジフードファン）
②型式
③故障または異常の内容（できるだけ詳しく）
④ご住所、ご氏名、電話番号、道順

補修用部品の最低保有期間

換気扇の補修用性能部品の最低保有期間は、製造打切り後６年です。この期間は経済産業省の指導によるものです。
（性能部品とは、その製品の機能を維持するために必要な部品です。）

8．保証書

レンジフード

保 証 書

品 番	

保証期間		１年間	★お買い上げ日	年　月　日
★お客様	ご住所	〒		
	お名前	様　TEL　（　）		
★販売店	住 所 店 名	見　本 TEL　（　）		印 または サイン

★印欄に記入のない場合には有効とはなりませんから、必ず記入の有無をご確認ください。もし、記入がない場合には直ちにお買い上げの販売店にお申し出ください。
本書は再発行致しませんので紛失しないよう大切に保管してください。

記

本書は、本書記載内容で、無料修理させていただくことをお約束するものです。

１．取扱説明書、本体貼付ラベルなどの注意書による正常な使用状態で、保証期間内に故障した場合には、お買い上げの販売店またはP10に記載のフリーダイヤルへ出張修理をご依頼のうえ、修理に際して、本書をご提示ください。
２．ご転居の場合の修理ご依頼先は、お買い上げの販売店またはP10に記載のフリーダイヤルへご相談ください。
３．保証期間内でも次の場合には有料修理になります。
（１）一般家庭以外（例えば車両、船舶への搭載、業務用など）に使用された場合の故障及び損傷。
（２）使用上の誤り及び不当な修理や改造による故障及び損傷。
（３）鉄粉などによるもらいサビ、及び水滴の放置などによる汚れの付着、損傷。
（４）メーカーが定める設置説明書に基づかない設置、専門業者以外による移動、分解などに起因する不具合。
（５）お取付後の移設、輸送、落下などによる故障及び損傷。
（６）建築躯体の変形など製品以外の不具合に起因する不具合、塗装の色あせなどの経年変化または使用に伴う摩耗などにより生じる外観上の現象。
（７）海岸付近、温泉地などの地域における腐食性空気環境に起因する不具合。
（８）ねずみ、昆虫などの動物の行為に起因する不具合。
（９）火災、爆発事故、落雷、地震、洪水、津波など天地異変または戦争、暴動など破壊行為による不具合。
（１０）消耗部品の消耗に起因する不具合。
（１１）異常電圧、指定外の使用電圧（電圧、周波数）などによる故障及び損傷。
（１２）本書の提示がない場合。
（１３）本書にお客様名、販売店名、お買上げ日の記入のない場合、あるいは字句を書き換えられた場合。
（１４）離島または離島に準じる遠隔地へ出張修理を行なう場合の出張に要する実費。
４．本書は日本国内においてのみ有効です。（This warranty is valid only Japan.）
５．本書は再発行いたしませんので大切に保管してください。

お客様へ　この保証書は、本書に明示した期間、条件のもとにおいて、無料修理をお約束するものです。したがって、この保証書によって保証書を発行している者（保証責任者）、及びそれ以外の事業者に対するお客様の法律上の権利を制限するものではありませんので、保証期間経過後の修理、補修用性能部品の保有期間などについて、詳しくは取扱説明書をご覧ください。なお、ご不明の場合は、お買い上げの販売店またはP10に記載のフリーダイヤルへお問い合わせください。

修理記録	年 月 日	修 理 内 容	担 当 者

タカラスタンダード株式会社
本社 〒536-8536 大阪市城東区鴫野東１丁目２番１号
TEL(06)6962-1531

12L-1